

## R 5年度 職員自己評価

R 5年度を振り返り、職員が自己評価をしました。

《 R 5年度 達成できたと思うこと 》

- ・集団生活の中でも子ども一人ひとりの感性・個性を尊重した関わりを大切にしました。
- ・子どもの喜怒哀楽の感情や「やりたい!」「できた!」という気持ちに寄り添い、共感する保育を行うようにしました。信頼関係をしっかりと築き、子どもが安心できる環境を作ることができました。
- ・常に全力で子ども達と一緒に活動を楽しみました。日常の保育の積み重ねの結果、大きな行事(運動会・発表会等)を通して子どもの成長を保護者の皆様に見ていただくことができました。
- ・懇談会で多くの保護者の方と普段できない交流ができ、とても良い時間を一緒に過ごせました。
- ・子育て支援の場として、地域交流(ぼこあぼこ)を多く開催することができ、子育てをしている地域の方に楽しんでいただけました。
- ・園内でコミュニケーション研修を行い、職場環境の改善に努めました。互いを尊重し合える関係性を作り、一人ひとりの職員が自分の意見を積極的に出し合えるようになりました。子ども達にとってよりよい保育ができるよう、職員同士話し合いを重ね、保育計画を立てています。

《 R 6年度 努力すべきこと・目標 》

- ・常に子どもの立場になって考え、一人ひとりを大切にしたい保育を行います。
- ・保護者の方との関わりを深め信頼関係を築き、家庭と園で協働しながら子ども達にとってよりよい保育が行えるよう努めます。
- ・各自、保育の専門性を向上させる為、積極的に研修に参加し保育に活かします。
- ・計画的に異年齢交流ができる活動を行います。
- ・目の前の姿からだけでなく、個々の育ちから状況を判断し、気持ちを受け止め一人ひとりに合った対応ができるようにしていきたいです。
- ・否定的な言葉は使わず、子どもが自分を肯定する気持ちを育めるような言葉かけを心がけていきます。